



写真1 右方向の道路を見て自動車の通行がないと確認 信号を無視して横断

そこで改めて、自転車が信号を無視したことによる事故発生の危険性が高い状況を紹介します。



写真3 信号を無視して左折する自転車 自動車の接近に気付き驚いています

事故はほんの一瞬・わずか1秒の出来事です。信号無視は自分が大丈夫と思つていても、事故を起こす危険性があることを、ぜひ再確認してください。

自転車や歩行者が信号を無視する主な理由は、「急いでいる」「左右の道路を自動車が通行していない」です。しかし、このような理由で信号を無視しても事故は起こらないのでしょうか。2021年7月、歩行者が信号を無視して横断歩道を渡りバイクと衝突した事故では、バイク運転者が重傷を負い、歩行者が重過失傷害容疑で書類送検されました。

自転車を取り巻く利用環境観察

連載 ④

「信号を無視する理由」

自転車安全利用研究会 谷田貝一男

自転車の信号無視による事故が2020年は全国で861件、歩行者の信号無視による事故が335件発生しています。



写真2 右方向から歩行者が来たことに気付かなかった 歩行者と衝突寸前

歩道通行の自転車が、右方向の道路を見て自動車が通行していないことを確認しただけで、信号を無視して横断しています（写真1）。ところがこの自転車は自動車だけに注意を払い、同じ右方向の道路から来た歩行者に気が付かずに横断したため、この歩行者とぶつかりそうになりました（写真2）。

自動車との衝突の危険

左右の道路の通行状況が確認しにくい交差点で、1台の自転車は赤信号で一時停止していますが、右端の自転車は信号を無視して左折しようとしています。その瞬間、右方向から自動車が接近していることに気が付いて驚きながらも、一時停止しないで左折しています（写真3）。

歩行者との接触の危険